

事務事業名	学力向上推進事業				担当	教育委員会 学校教育課 指導係			
政策名	1	「人づくり」～豊かなこころアップ!～			<input type="checkbox"/> 総重 (総合計画重点事業) <input type="checkbox"/> 総新 (総合計画新規事業) <input type="checkbox"/> 戦拡 (総合戦略拡充事業) <input type="checkbox"/> 戦新 (総合戦略新規事業)				
施策名	1	確かな学力の育成							
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 毎年度実施 (開始年度 H29 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)			
法令根拠									
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	1. 教育総務費	3. 教育振興費					
事業概要	真岡市総合学力調査及び全国学力・学習状況調査・とちぎっ子学習状況調査の結果分析を基に、各学校の学力向上に向けた取組を支援する。また、真岡市学力向上推進研修会や教員研修会を開催し、各学校の検証改善サイクルの構築と教職員の資質・能力の向上を図る。さらに、指導主事による学校訪問を行い、教科の指導力向上を図り、児童生徒の学力を向上させる。 これまでの学力向上推進事業のR2年度の評価は、R3年度は真岡市総合学力調査で行う。								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段 (主な活動)	④ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) の推移						
2年度実績 ・新型コロナウイルス感染症に係る臨時休業のため、4月の各種調査は未実施のため、学力向上推進研修会は、真岡市総合学力調査の3学期実施調査後、1回の実施。また、その後の学校への支援訪問は未実施 ・教職2 4年目教員支援事業は、事業を縮小し実施。  3年度計画 ・年2回の真岡市学力向上推進研修会 (7月、1月) ・教職2 4年目教員支援事業	名称	単位	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(見込)
	ア 真岡市学力向上研修会	回	2	2	2	1	2
	イ 教職2～4年目教員支援事業全体会	回	1	1	1	0	1
	ウ 教職2～4年目教員支援事業学校訪問	回	96	82	80	38	71
	エ						
オ							
② 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 小中学校教職員	⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) の推移						
	名称	単位	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(見込)
	ア 教員数	人	647	607	598	617	620
	イ 教職2～4年目教員数	人	48	41	40	38	60
	ウ						
	エ						
オ							
③ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか) 教員の授業改善を図り、児童生徒の学力向上に努め、全国学力・学習状況調査において、全国の平均正答率同程度以上の結果が残るようにする。	⑥ 成果指標 (対象における意図された対象の程度) の推移						
	名称	単位	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(見込)
	ア 研修会后アンケート高評価の割合	%	99.3	97.6	98.8	99.0	100
	イ 小5とちぎっ子学習状況調査2教科合計平均正答率の差	ポイント	-0.6	0.2	-0.8	-	0.5
	ウ 中2とちぎっ子学習状況調査5教科合計平均正答率の差	ポイント	1.5	0.8	2.3	-	2.0
	エ						
オ							

(2) 総事業費の推移		単位	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(見込)
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	40	70	41	10
	事業費計 (A)	千円	40	70	41	10	92

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 小中学校教育の充実の学びを育む「知育」及び施策の成果目標に結びつく。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 学びを育む教育「知育」は、市の重要施策である。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 対象・意図を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある (評価理由) 児童生徒一人一人の学力向上を図るためには、教職員の資質・能力の向上が欠かせないので必要である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある (評価理由) 研修会や学校支援訪問を実施し、学力向上に向けた授業づくりを支援したり、各校の組織的な取組を支援する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業と統合・連携ができる(類似の事務事業名： ) <input type="checkbox"/> 類似事業と統合・連携できない(類似の事務事業名： ) <input type="checkbox"/> 類似事業はない (評価理由)
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある (評価理由) 成果をあげるためには必要最低限である。

3. 改革・改善方向の部

<p>(1) 改革の方向性(改革案・実行計画)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続</p>	<p>(3) 改革・改善による期待成果</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			/	低下			/
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			/																		
	低下			/																		
<p>(2) 課題、課題の克服の方向性</p>																						

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える</p>		<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			/	低下			/
					コスト																		
			削減	維持	増加																		
成果	向上																						
	維持			/																			
	低下			/																			
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <p>①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり    ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり          ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり    ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>																							
<p>(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充  <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善  <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大  <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(4) その他2次評価会議で指摘された事項</p>																						